



漱石記念年 2016-2017



# 漱石作品

## 読書感想文募集

### 『鶉籠』序

「鶉籠」は天下青年の趣味をして一厘だに墮落せしむるの虞なき作品たるを信じたればなり。

「坊っちゃん」「二百十日」「草枕」収録

# 高校生の君たちへ

# 坊っちゃん



### 夏目漱石 (本名・金之助) 略年譜 (主な作品を中心に)

※「漱石研究年表」参照

慶応3年	夏目小兵衛直克の五男として二月九日(新暦)江戸牛込馬場下横町に生れる。	0歳
明治7年	公立小学戸田学校下等小学校に入る。	7歳
明治12年	三月東京府第一中学校入学。	12歳
明治14年	東京府第一中学校退学。二松学舎入学。	14歳
明治17年	九月東京大学予備門予科入学。	17歳
明治18年	七月第一高等中学校本科卒業。九月帝国大学文科英文学科入学。	23歳
明治26年	七月帝国大学文科英文学科卒業。帝国大学大学院に入る。	26歳
明治27年	十二月鎌倉円覚寺に参禅。	27歳
明治28年	四月愛媛県尋常中学校嘱託教員。	28歳
明治29年	四月愛媛県尋常中学校依願退職。第五高等学校に赴任。六月、中根鏡子と結婚。	29歳
明治33年	九月文部省第一回給費留学生としてイギリスへ出発。	33歳
明治35年	十二月ロンドンから帰国の途につく。	35歳
明治36年	一月下旬帰国。三月本郷区駒込千駄木町五十七番地へ転居。四月第一高等学校英語嘱託、東京帝国大学文科大学講師。	36歳
明治38年	「吾輩は猫である」(「ホト、ギス」一月号)に連載開始。『吾輩ハ猫デアル』(上篇)十月大倉書店・服部書店刊。	38歳
明治39年	「坊っちゃん」(「ホト、ギス」四月号)発表。「草枕」(「新小説」九月号)発表。「二百十日」(「中央公論」十月号)発表。「吾輩ハ猫デアル」(中篇)十一月大倉書店・服部書店刊。十二月本郷区西片町十番地ろノ七号へ転居。	39歳
明治40年	「鶉籠」(「坊っちゃん」二百十日)「草枕」(「坊っちゃん」二百十日)「二百十日」(「草枕」)一月春陽堂刊。三月第一高等	40歳
明治41年	学校、東京帝国大学依願退職。関西旅行。四月東京朝日新聞社入社。『文学論』五月大倉書店刊。『吾輩ハ猫デアル』(下篇)五月大倉書店・服部書店刊。「虞美人草」六月から朝日新聞に連載開始。九月牛込区早稲田南町七番地へ転居。	41歳
明治42年	「虞美人草」一月春陽堂より単行本になる。「坊夫」一月から朝日新聞に九十一回連載。「夢十夜」七月から朝日新聞に百十七回連載。「三四郎」九月から朝日新聞に百十七回連載。	42歳
明治43年	「永日小品」一月から朝日新聞に連載。「文学評論」三月春陽堂刊。「三四郎」五月春陽堂より単行本になる。「それから」六月から朝日新聞に百十回連載。九月満州へ出発。十月中旬帰途につく。「それから」一月春陽堂より単行本になる。「門」三月から朝日新聞に百四回連載。八月転地療養先の修善寺温泉で人事不省に陥る。十月帰京して長与胃腸病院入院。「思ひ出す事など」十月から朝日新聞に三十二回連載。	43歳
明治44年	「門」一月春陽堂より単行本になる。二月下旬長与胃腸病院退院。八月関西へ行き、明石、和歌山、堺、大阪で講演。大阪で湯川胃腸病院入院。九月帰京する。「彼岸過迄」一月から朝日新聞に百十九回連載。九月春陽堂より単行本になる。「行人」十二月から朝日新聞に連載開始。中断の後大正二年十一月完結。	44歳
明治45年	「行人」一月大倉書店より単行本になる。「心」四月から朝日新聞に百十回連載。九月岩波書店より単行本になる。「硝子戸の中」一月から朝日新聞に三十九回連載。三月京都旅行、約一カ月滞在する。「道草」六月から朝日新聞に百二回連載。十月岩波書店より単行本になる。「明暗」五月から朝日新聞に百八十八回連載。未完。十二月九日永眠。	45歳
大正元年		45歳
大正3年		47歳
大正4年		48歳
大正5年		49歳

### 夏目漱石・記念年実行委員会

◎発足 二〇〇九(平成二十一年)一月二十五日、夏目漱石(金之助)が明治二十九年四月から明治三十三年七月までの四年三ヶ月教鞭を執った、第五高等学校の赤レンガ校舎・五高記念館において結成する。

◎目的 夏目漱石の没後一〇〇年、生誕一五〇年を夏目漱石記念年と位置づけ、この記念中に文藝界作家と称えられる夏目漱石の、顕彰事業を全国規模で展開する。

◎活動実績 熊本大学内五高記念館で発足。共同通信にて全国に配信される。

平成二十三年 松岡陽子マックレイン氏(夏目漱石の孫を米國オレゴンより招聘、鎌倉(四月二十九日)、熊本(五月三日)、横浜フェリス学院大学(五月十日)等での講演会を実施する。

平成二十四年 夏目漱石・記念年のイメージキャラクター画を募集(九月〜十二月)する。

平成二十五年 二、夏目漱石記念年のイメージキャラクター画の選考会を、熊本、鎌倉で実施する。

三月、夏目漱石・記念年のイメージキャラクターを、「漱石くん」に決定する。

九月、「漱石くん」のデザインをもとに、夏目漱石・記念年のマスコット「漱石くん金バッジ」を制作する。

十月、「漱石探訪in熊本」を開催する。

八月、「夏目漱石・記念年特別講座」の第一期を、県立神奈川近代文学館を会場にして実施する。

玉名市で「俳句フォト夏目漱石の旅(公募展)を実施する。(平成二十九年夏迄)十一月、「漱石探訪in松山」を開催する。

五月、「夏目漱石記念年オーブニング式典」を熊本で開催する。

八月、和歌山で「漱石と落語」を開催する。

九月、夏目漱石・記念年特別講座の第二期を実施する。(第三期は平成二十九年六月)十月、広島で「夏目漱石茶会」を開催する。

十二月、広島で「没後一〇〇年・生誕一五〇年」漱石と広島展を開催する。平成二十九年二月迄

五月、鎌倉で「五感で愉しむ漱石」を開催する。

平成二十九年七月二十日(十月三十日) (最終日の消印有効)

#### 募集期間

平成二十九年七月二十日(十月三十日) (最終日の消印有効)

#### 募集内容

夏目漱石の小説「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「心」の読書感想文を募集する。

#### 応募資格

全国(日本国内)の高等学校、平成二十九年度の年生、二年生に限る。

#### 応募要領

小説「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「心」から好きな一編を選び、その読書感想文を、四〇〇字詰め原稿用紙三〜五枚以内で、日本語縦書きにする。これに則るパソコン表記も可。応募の際は、◎タイトル◎住所◎氏名◎ふりがな◎年齢◎性別◎学校名◎学年◎電話番号を明記し別紙を添付する。◎応募の際の個人情報保護法を遵守致します。

#### 応募料

無料

#### 各賞

◎最優秀賞(賞状、楯、記念品、図書カード三万円)◎優秀賞(賞状、楯、記念品、図書カード一万円)◎佳作(賞状、記念品、図書カード五千円)◎奨励賞(賞状、記念品、図書カード三千円)

#### 入賞発表

平成三十年三月(入賞者は直接通知し、夏目漱石記念年実行委員会加盟団体の機関誌及び辞書・事典検索サイト「ジヤパンナレッジ」の特設ページにて公表する)

#### 表彰式

《時》平成三十年五月六日(日)午後時より、《処》県立神奈川近代文学館ホール

#### 著作権

入賞の諸権利は主催者に帰属する。

#### 選考委員

〔委員長〕出久根達郎(委員)石郷岡優美、市成能男、國松薫、櫻井薫、高倉仁、田中ひとみ、富澤宗實、長島裕子、丹羽隆子、布川一郎、牧村健一郎、松下浩幸

#### 応募先

〒一九二一〇三六四 東京都八王子市南大沢三ノ四ノ三ノ〇三 夏目漱石・記念年実行委員会事務局 ☎〇八〇・五五三三・二二五〇

#### 主催

夏目漱石・記念年実行委員会

#### 共催

鎌倉漱石の會、草枕ファン倶楽部、くまもと漱石倶楽部、修善寺漱石の會、「漱石と広島」の會、長野漱石会、木曜会、和歌山漱石の會

#### 後援

新宿区、県立神奈川近代文学館、朝日新聞社、岩波書店、ネットアドバンス、特定非営利活動法人オペラ彩